

知多市外国人児童生徒等教育事業

【事業目的】
170人を超える外国籍児童生徒が在籍する知多市では、日本語を理解しない児童生徒及び保護者への対応に学校現場は苦慮しており、様々なトラブルに発展するケースが少なくない。本事業の実施によって、外国人児童生徒へより個別最適な日本語適応指導の実現を図る。

- 【現状と課題】
- 外国籍児童生徒の在籍校の分散化 → ×十分な日本語指導ができず進路指導等で問題
 - 日本語が全くできない児童生徒と保護者の増加 → ×学級運営、学校行事等での意思疎通に支障
 - 母国語の多様化 → ×教員への多大な負担

- 【事業のエビデンス】
- ①日本語レベルの達成度を測定→子どもに対してテストを実施→各テストで基準以上の正答率
 - ②学校が楽しいと思う児童生徒の割合の調査→子どもに対してアンケートを実施→肯定的回答の数値が80%以上



【目的・目指す姿】
外国人児童生徒へ
個別最適な日本語適応指導の実現
多文化共生社会の実現へ

【事業概要イメージ図】

外国人児童生徒等教育連携協議会

市教育委員会(学校教育課)

- 【未就学・児童生徒に関する取組み】
- ・保育園等と連携し、親子の日本能力の把握と支援方法の検討
 - ・外国人児童生徒等教育事業の実施(研修の機会の提供や環境整備の情報提供等)

- 【入学前プレスクール】(学校教育課主催、市民協働課共催事業 3月に1回)
- ◎入学前の外国人児童に対して、学校生活に必要な日本語に触れる機会を設ける
 - ◎保護者に日本の学校生活の様子を伝えたり、入学に関わる書類作成の補助など、心構えをもたせる
 - ★アドバイザーとして外国人児童生徒指導員・日本語初期指導教室指導員が参加

- 外国人児童生徒指導員・指導協力員
- ◎日本語指導を必要とする外国人等の児童生徒が1日も早く学校生活に適應できるよう支援するため、語学指導、生活適應相談、教育相談等の補助を行う指導員・協力員を配置
- 【内容】
- ・外国人児童生徒等に対する生活適應相談、日本語及び対象言語指導の補助
 - ・保護者に対する教育相談及び保護者懇談の通訳
 - ・教材や学校通知文書等の作成補助、文書の翻訳、通訳 etc

市(市民協働課)

- 【未就学・児童生徒に関する取組み】
- ・保育園等と連携し、親子で日本語に慣れ親しむ日本語教室(基礎的学習)の実施
 - ・年齢に合わせ小学校を意識した学習支援の実施
 - ・外国籍園児・保護者の交流の場の提供 …etc

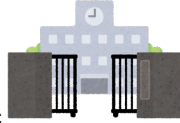
- 【外国人生活支援事業】(NPO団体 ちたビジョンプロジェクトへ委託)
- ◎日本の学習環境に不慣れな外国人児童・生徒に対し、日々の勉強や、入学・進学・就職時のサポート等の学習支援を主軸とした生活支援事業
 - ★小学校就学前児童の適応指導(10回程度)
 - ★小・中学生の学習支援(小:週2回程度、中:1回程度)



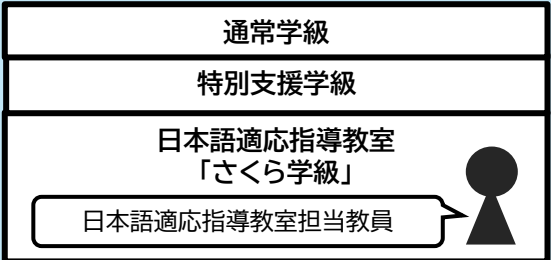
小・中学校

各学校担当教員が日本語初期指導教室の
校区内児童生徒の状況を定期的に確認

- ◎学校内での情報共有を実施
- ・教務担当
 - ・外国人児童生徒等教育担当
 - ・日本語適応指導教室担当 etc



つつじが丘小学校



日本語初期指導カリキュラム
学校生活適応指導カリキュラム
を作成し、実施しています。

※未就学児への日本語適応支援にも日本語
初期指導カリキュラムを利用することが可能

日本語初期指導教室
「えがお」

【内容】

- ・学校生活適応指導
- ・日本語初期指導

H29年度～
運用開始

【取組み】

- ◎対象の児童生徒をつつじ小学校に集約する(現在さくら学級に在籍する同様の児童も対象に含める)。
- ◎状況に応じて、日本語初期指導教室指導員が巡回指導を行う。
- ◎学校生活に必要な日本語の理解能力が備わったら住所の学校へ通学する。

日本語初期指導教室指導員

NPO団体等

- ◎各団体が日本語初期教育、家庭学習支援、異文化・国際交流事業を実施している
- 【市内団体】
- ・ちたビジョンプロジェクト
 - ・AELU Chita
 - ・知多市にほんごの会 etc
- ★ちたビジョンプロジェクトは、市民協働課からの委託を受け、プレスクールを11月～3月の間に10回実施している

